

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2003-307787 (P2003-307787A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 31 日 (2003.10.31)
 【出願番号】特願 2002-113873 (P2002-113873)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 27/50
 B 6 5 H 7/02
 G 0 3 G 15/00
 G 0 3 G 21/00
 H 0 4 N 1/04
 H 0 4 N 1/10
 H 0 4 N 1/107

【 F I 】

G 0 3 B	27/50	A
G 0 3 B	27/50	B
B 6 5 H	7/02	
G 0 3 G	15/00	1 0 7
G 0 3 G	21/00	3 7 0
G 0 3 G	21/00	3 8 4
G 0 3 G	21/00	3 8 6
H 0 4 N	1/04	1 0 5
H 0 4 N	1/10	
H 0 4 N	1/12	Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 4 月 18 日 (2005.4.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

自動原稿搬送手段と、
原稿台カバーの開閉検知手段と、
 原稿を読み取る原稿読取ユニットと、
 この原稿読取ユニットを原稿台の下で移動させる移動手段と、

前記移動手段により前記原稿読取ユニットを第 1 の位置に停止し、この停止された原稿読取ユニットで前記自動原稿搬送手段により搬送される原稿を読み取る第 1 の原稿読取モードと、前記移動手段により第 2 の位置から前記原稿台上に載置された原稿を走査することにより読み取る第 2 の原稿読取モードの制御を行う制御手段とを備え、

この制御手段は、前記原稿台カバーの少なくとも開放を検知したとき、前記第 2 の原稿読取モードが選択されたと判断することを特徴とする原稿読取装置。

【請求項 2】

前記自動原稿搬送手段に原稿がセットされたことを検知する自動搬送原稿セット検知手段をさらに備え、前記制御手段は、前記自動原稿搬送原稿セット検知手段によって原稿が検知された場合、前記第 1 の原稿読取モードが選択されたと判断し、読取指示を受けたと

き前記第 1 の位置で原稿搬送による原稿読取を開始することを特徴とする請求項 1 記載の原稿読取装置。

【請求項 3】

自動原稿搬送手段と、

前記自動原稿搬送手段に原稿がセットされたことを検知する自動搬送原稿セット検知手段と、

原稿を読み取る原稿読取ユニットと、

この原稿読取ユニットを原稿台の下で移動させる移動手段と、

前記移動手段により前記原稿読取ユニットを第 1 の位置に停止し、この停止された原稿読取ユニットで前記自動原稿搬送手段により搬送される原稿を読み取る第 1 の原稿読取モードと、前記移動手段により第 2 の位置から前記原稿台上に載置された原稿を走査することにより読み取る第 2 の原稿読取モードの両原稿読取モードの制御を行う制御手段とを備え、

この制御手段は、前記自動搬送原稿セット検知手段による原稿セットが検知されたとき、第 1 の原稿読取モードが選択されたと判断することを特徴とする原稿読取装置。

【請求項 4】

原稿台カバーの開閉を検知する原稿台カバー開閉検知手段をさらに備え、前記制御手段は、前記原稿台カバーの開放を検知したときに、前記第 2 の原稿読取モードが選択されたと判断し、読取指示を受けたときに前記第 2 の位置から前記原稿台上に載置された原稿の走査を開始することを特徴とする請求項 3 記載の原稿読取装置。

【請求項 5】

前記原稿台カバーの開放が検知されず、かつ、前記自動原稿搬送手段に原稿がセットされたことが検知されない場合に読取指示を受けたとき警告を発することを特徴とする請求項 2 または 4 記載の原稿読取装置。

【請求項 6】

前記原稿台上に物体が載置されたことを検知する物体検知手段をさらに備え、この物体検知手段による検知出力と前記原稿台カバーの開放検知手段の出力とを組み合わせる原稿台上への原稿の載置を検知することを特徴とする請求項 1、2、4、5 のいずれかに記載の原稿読取装置。

【請求項 7】

前記第 1 の原稿読取モードと第 2 の原稿読取モードの両方が選択されたと判断されるときは警告を発することを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の原稿読取装置。

【請求項 8】

自動原稿搬送手段と、

前記原稿台カバーの開閉検知手段と、

前記自動原稿搬送手段に原稿がセットされたことを検知する自動搬送原稿セット検知手段と、

原稿を読み取る原稿読取ユニットと、

この原稿読取ユニットを原稿台の下で移動させる移動手段と、

前記移動手段により前記原稿読取ユニットを第 1 の位置に停止し、この停止された原稿読取ユニットで前記自動原稿搬送手段により搬送される原稿を読み取る第 1 の原稿読取モードと、前記移動手段により第 2 の位置から前記原稿台上に原稿を走査することにより読み取る第 2 の原稿読取モードの制御を行う制御手段とを備え、

この制御手段は、前記自動搬送原稿セット検知手段による原稿セットが検知されたとき、第 1 の原稿読取モードが選択されたと判断し、前記原稿読取ユニットの現在位置が前記第 1 の位置でなければ読取指示を受ける前に前記移動手段により原稿読取ユニットを前記第 1 の位置に移動させ、前記原稿台カバーの少なくとも開放を検知したとき、第 2 の原稿読取モードが選択されたと判断して、現在位置が前記第 2 の位置でなければ読取指示を受ける前に前記移動手段により原稿読取ユニットを前記第 2 の位置に移動させることを特徴とする原稿読取装置。

【請求項 9】

自動原稿搬送手段と、
原稿台カバーの開閉検知手段と、
原稿を読み取る原稿読取ユニットと、
この原稿読取ユニットを原稿台の下で移動させる移動手段と、
前記原稿台カバーの少なくとも開放を検知したとき、前記原稿台上に載置された原稿を
走査する原稿読取モードが選択されたと判断する制御手段とを備えたことを特徴とする原
稿読取装置。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の原稿読取装置と、この原稿読取装置により読み取られた原稿画像を記録する画像形成手段とを備えた画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による原稿読取装置は、自動原稿搬送手段と、原稿台カバーの開閉検知手段と、
原稿を読み取る原稿読取ユニットと、この原稿読取ユニットを原稿台の下で移動させる移
動手段と、前記移動手段により前記原稿読取ユニットを第 1 の位置に停止し、この停止さ
れた原稿読取ユニットで前記自動原稿搬送手段により搬送される原稿を読み取る第 1 の原
稿読取モードと、前記移動手段により第 2 の位置から前記原稿台上に原稿を走査すること
により読み取る第 2 の原稿読取モードの制御を行う制御手段とを備え、この制御手段は、
前記原稿台カバーの少なくとも開放を検知したとき、前記第 2 の原稿読取モードが選択
されたと判断することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このように、制御手段は、前記原稿台カバーの少なくとも開放を検知したとき、前記第
2 の原稿読取モードが選択されたと判断して、読取指示を受ける前に前記移動手段により
原稿読取ユニットを前記第 2 の位置に移動させることができる。これにより、デフォルト
状態の第 1 の原稿読取モードだけでなく、第 2 の原稿読取モードでも画像形成の開始（画
像の読取開始）に移行する時間の短縮を図ることが可能となる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の他の原稿読取装置においては、制御手段は、前記自動搬送原稿セット検知手段
による原稿セットが検知されたとき、第 1 の原稿読取モードが選択されたと判断する。こ
の構成は、前記構成とデフォルト状態が異なるが、同様の作用効果を得ることができ
る。また、原稿台カバーの開閉を検知する原稿台カバー開閉検知手段をさらに備えてもよく、
前記制御手段は、前記原稿台カバーの開放を検知したときに、前記第 2 の原稿読取モード
が選択されたと判断し、読取指示を受けたときに前記第 2 の位置から前記原稿台上に載置
された原稿の走査を開始する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

前記原稿台カバーの開放が検知されず、かつ、前記自動原稿搬送手段に原稿がセットされたことが検知されない場合に読取指示を受けたとき、いずれのモードにおいても原稿がないと判断して、警告を発することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

前記第1の原稿読取モードと第2の原稿読取モードの両方が選択されたと判断されるときは警告を発するようにしてもよい。